

【大学・専攻等名】

岡山大学・大学院医歯薬学総合研究科

【事業名】

学部・大学院教育と連携したサイエンスマスター・メンターの育成

【事業概要】

本プログラムは、医学生命科学領域の基礎と臨床をつなぐ橋渡し研究推進のための人材育成を目的とする。

若手研究者を、先進的な橋渡し研究を実践している海外パートナー機関に派遣して研究経験を積ませることにより、国際的スタンダードを理解し、英語で自己表現する能力を習得させる。海外派遣は、博士課程1、2年生を3ヶ月間派遣する『自己啓発型 ITP』と博士課程3年生以上、ポスドク、若手教員を長期派遣する『研究遂行型 ITP』の二種類を行う。前者は初期研修によるモチベーション、後者は研究テーマの遂行と発展を目的に行う。担当職員と担当教員からなる ITP 推進オフィスが、派遣のためのアドバイスや支援を行い、派遣中は海外パートナー機関の教員が指導にあたる。

若手研究者と ITP 推進オフィスを中心に ITP サロンをつくり、情報提供、情報交換の場とするともに、ITP セミナーや ITP シンポジウムを定期的で開催する。また ITP リトリート（懇親型ミーティング）により、メンバーの親睦を図る。

海外派遣と ITP サロン活動を通じて、国際共同研究を含めた研究を推進する人材（サイエンスマスター）と、大学院生や若手研究者の研究指導教育を推進する人材（サイエンスメンター）を育成する。これらの研究教育エキスパートと ITP 推進オフィス、海外パートナーが一体となりサイエンスクラスターを形成し、若手研究者を持続的かつ発展的に育成するシステムを構築する。

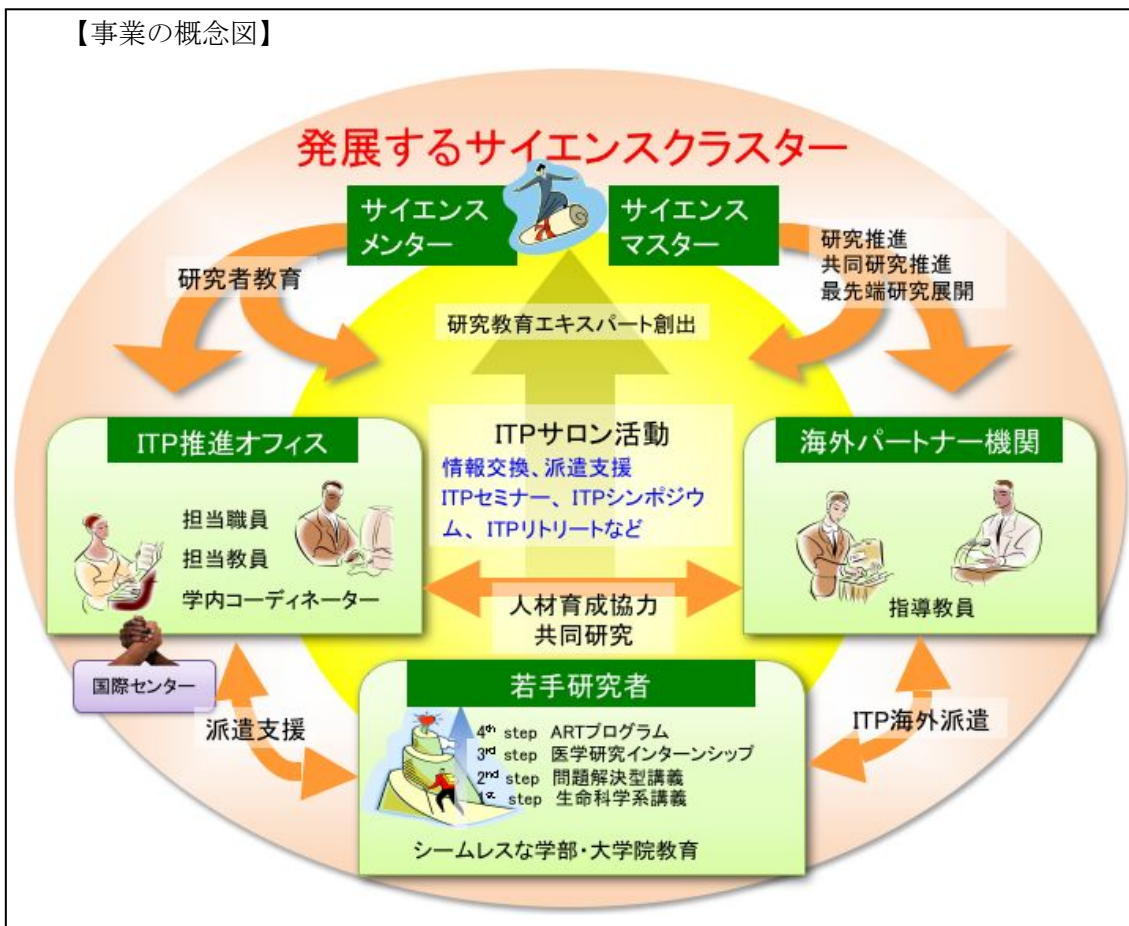
岡山大学は研究マインドを持つ医師養成を目指し、学部教育における医学研究インターンシップ、大学院教育における ART プログラム（Advanced medical Research Program；卒後臨床研修と博士課程を両立するための大学院プログラム）などの教育改革を推進し、効果を上げてきている。これらの既存プログラムに本 ITP プログラムが加わる事により、岡山大学の特色である『学部-大学院と連携したシームレスな人材育成』がより充実すると期待される。

【協力機関】

【海外パートナー機関の名前・専攻等名及び所在地】

パリ神経科学大学院・神経科学・フランス・パリ
ワシントン大学・病理学・ベナロヤ研究所・アメリカ合衆国・シアトル
ミシガン大学・病理学・アメリカ合衆国・アナーバー
ピッツバーグ大学・革新的再生医療センター・アメリカ合衆国・ピッツバーグ
ジョージア医科大学・脳神経外科・アメリカ合衆国・オーガスタ
ミュンスター大学・整形外科学・ドイツ・ミュンスター
カリフォルニア大学サンディエゴ校・腎臓内科・アメリカ合衆国・サンディエゴ

【事業の概念図】



【本事業に関する問い合わせ先】

〒700-8558 岡山市鹿田町 2-5-1
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・生化学分野教授 竹居孝二
電話：086-235-7120 FAX：086-235-7126 メール：kohji@md.okayama-u.ac.jp